

県外派遣報告書	
1 大会名	第52回 九州中学校バスケットボール競技大会
2 派遣期間	8月3日(水)～5日(金)
3 派遣者	山中 萌衣
4 担当ゲーム	女子1回戦 折尾対日章学園 CC 女子準決勝 純心対折尾 CC
5 内容	<p><b>【PGC】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メカニクスの確認(ローテーションのタイミングの共通理解、エッジの分担、など)</li> <li>処置ミスゼロにするために気をつけたいことの確認</li> </ul> <p>女子1回戦 折尾対日章学園 CC:山中 U1:新里(沖縄) U2:古瀬(佐賀)</p> <p><b>【ゲームの内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンタクトの多い試合であった。特に折尾のインサイドに対してコンタクトを起こしていたので、ファウルなのかリーガルなのかの判断が必要であった。手を使って守るケース(押す、つかむなど)に関しては、試合を通じてコールすることができていた。しかし、オフェンスへの影響まで長く見て、マージナルの判定で良い場面もあった。ディフェンスがリーガルな時にオフェンスも手を使ってポジションを取るケースもあった。1つオフェンスファウルをコールしたが、それよりも明らかなものを逃してしまい、それが首より上に肘が肺折っているようなケースだったので、ディフェンスだけでなく、オフェンスへの意識も高めないといけない。</li> <li>メカニクスに関して、PGCでボールが45°に降りたら早めにローテーションをするという共通理解で行うことができた。そのため、それぞれのプライマリでのファウルやバイオレーションを判定することができていた。</li> </ul> <p><b>【ゲーム後】IR:仲間氏(沖縄県)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肘が入ったオフェンスファウルはコールしてほしかった。インサイドがキーになる試合であったので、オフェンスの店舗セットでも必要であった。</li> <li>時計への意識が高く、訂正が必要なときは正しく訂正できていたので、訂正にかかる時間も短く、スムーズな進行につながっていた。</li> <li>ファウル数が多くなったが、1試合通して吹き続けたことは良かった。</li> </ul> <p>女子準決勝 純心対折尾 CC:山中 U1:新里(沖縄) U2:米丸(宮崎)</p> <p><b>【ゲームの内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンタクトが少なく、我慢が必要な試合だった。その中で、明らかなものを1つ1つ積み重ねていくことができた。が、マージナルでもよいケースもあった。</li> </ul> <p><b>【ゲーム後】IR:福岡氏(長崎県)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルーチーフとして、どのようなコミュニケーションをとっていくか。今日みたいなコンタクトの少ない試合で我慢が必要な時に、クルーで共有したり、コミュニケーションをとったりして、3人の判定基準を合わせていく。ゲームは3人で作っていくものなので、それをクルーチーフが中心となってしていく。</li> </ul>

6 所感

クルーチーフとしてゲームをどのように進めていくか考えた大会だった。1日目と2日目で試合の内容や質が大きく違い、もっとコミュニケーションをとったり、共有する内容を考えたりする必要があった。今後は多くなることなので、そこまで考えられるように取り組んでいきたい。

今回の派遣に際しご配慮くださった原田委員長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様に感謝申し上げます。また、宮崎県の皆様にはさまざまな面でお世話になりました。お礼を申し上げ、派遣の報告といたします。ありがとうございました。